

## 令和5年度第一回八雲町総合開発委員会議事録（要旨）

### 【開催日時・場所】

令和5年9月25日（月） 13：30

八雲町役場第1・2会議室

### 【出席者】

別紙のとおり

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

八雲町スポーツ協会 新会長 古澤氏への委嘱状交付

## 3 町長あいさつ（町長欠席のため副町長よりあいさつ）

本日は大変お忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

皆様には町行政の推進に対しまして特段のご理解とご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

今年度より第2期総合計画後期計画がスタート致しました。少子高齢化や人口減少に対応した町づくりは2030年開業予定しています新幹線効果を最大限得るために、新八雲駅周辺を核とした町づくりを見据えているところでございます。今年度から5か年をかけて駅周辺整備構想を策定することとしております。先週八雲町の将来を担う若者の意見を反映させたいとして、八雲高校の生徒10名を委員に委嘱する中、将来の八雲町を見据えた意見をいただくこととしております。また、全町民に対してはアンケートなどを活用してご意見を頂戴しながら進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

次に役場新庁舎等の建設事業でございます。建物と外構の実施設計については具体的には10月から始めることとなっております。令和6年12月を目途として完了させ、令和6年度中には建設工事をスタートさせる予定でございまして、令和8年度中の完成、令和9年4月の供用開始を目指しているところでございます。敷地内建物の解体など今年度より進めており敷地内には八雲警察署が移転する予定となっております。これも建設時期と同時に進められるということで、令和8年度中を目指しているとのことです。

本日の委員会につきましては、第2期八雲町総合計画の評価、総合戦略の進捗状況、新庁舎の建設状況についてご説明させていただきますので、委員皆様方の忌憚のない意見を賜ればと思います。

委員の皆様には今後とも八雲町の町づくりに対しまして、ご支援・ご協力を賜りますことをお願いしまして、開会にあたる挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願い致します。

#### 4 会長あいさつ（大野会長）

今年の夏は非常に暑い日が続き、体調管理も大変であったわけですがようやく秋らしくなり朝晩は寒さを感じるころ、くれぐれもお体にはご注意ください。

本日は第一回目の委員会です。委員の皆様には忌憚のないご意見をお願いしたいと思っています。よろしくお願い致します。

#### 5 報告事項

##### （1）第2期総合計画 令和4年度事業費・実施内容、KPI進捗状況の評価について

事務局より説明

##### 【佐藤委員】

梅村庭園・梅雲亭のトイレについてですが和式と洋式があり汚いとの声も聞こえている。整備についてどのように考えているか。

入浴券の事業について高齢者は非常に助かっていると思うが、シルバープラザの入浴施設が無くなり昭和湯についても現在は休館となっている状況である。そのような中、遊楽亭への送迎バスにより対応されているが曜日や時間が定められており、送迎時間の間隔が短い時間のため長時間入ってられない現状がある。何らかの方法を考えるべきと思っているが、どう考えているかお聞かせください。

今年は猛暑であり、来年に向けても熱中症対策などが大事だと思います。学校エアコンの整備についてお聞かせください。

##### 【土井教育長】

梅村庭園・梅雲亭トイレの衛生面を管理することは、しっかりと取り組まなければならないと考えている。

公民館が新庁舎に移転することに伴い梅雲亭・庭園については今後の活用を見定めていかなければならない状況である。そのため、トイレの改修を令和9年度まで待つのか早急に対策するのか十分に検討していきたい。

学校のエアコン設置についてですが、猛暑により道内において残念な事故が起こってしまった。八雲町の学校では25日だった夏休み期間を猛暑が続くことから30日に変更している。町議会から学校にエアコンが必要だろうという意見も頂いている状況である。八雲中学校は大規模改修に伴いエアコンの設置が終えたところで来年度からエアコンを使うことができる。今後の方針としては、エアコンの設置を進めていきたいがスピード感の問題がある。八雲小学校などは多額の費用がかかるため、国の補助を活用したいが早くても令和6年度申請の令和8年度の着工となるため、補助が早まるよう要望しているところである。今後、大きい学校から順に設置していこうと考えているが猛暑が続き悩ましい状況である。そのため学校とは夏休み中の部活動をどのような状況で進めるか相談しながら緊張感をもって活動している。熱中症による事故の防止のため集団下校を行い子供たちの様子を見守っている状況である。熱中症による事故の防止にむけエアコンの設置だけでなく、それらの取り組みをもって日々緊張感をもって取り組んでいきたいと思っている。

**【成田副町長】**

高齢者等の入浴の関係ですが、昭和湯の再開について業者の方は早くスタートさせたいと話されており一部準備はしているが、営業を再開するまでには至らない状況である。町としても昭和湯の開業を働きかけ続けている状況である。遊楽亭の利用については、お風呂がない方や使えない方に対し、送迎している。これまでは町職員が公用車により送迎していたが10月からは営業車を使いながらサービスを継続する。入浴サービス券については1,500人くらいの方が利用され、18,000枚の入浴券が使われており、町としてもこの事業を続けることを考えている。

町内には様々な入浴施設があるので、将来的にはデマンド交通を利用して入浴施設を利用できるように検討していきたい。

**【佐藤委員】**

学校のエアコン設置など前向きに問題に取り組んでいただけるようで安心した。

お風呂の件もよくわかりました。重要なことなので、早く対応していただけるよう町で調整していただきたい。

**【寺田委員】**

前期計画において未達成66.7%の中で、コロナが影響しているのが42件ということだった。確かにコロナは仕方がないことだったと思うが、未達成だった事柄を今後どのようにフォローしていくのが重要ではないか。令和5年度から後期計画はすでに始まっているが、未達成の項目について今後のビジョンを教えてください。

**【川口課長】**

未達成の理由をコロナのせいにしたくないという思いではあるが、事実コロナの影響も大きいと感じている。コロナの影響がない計画であっても進行が滞っている状況もあり反省しているところである。後期の計画については、所管課によって前期の反省を踏まえ、目標値の設定を変更するなど見直しを行ってきた。前期同様の目標値もあれば現状に沿わない目標値は見直すなど数値を精査しているところである。例えば前期計画においては人口減について想定が甘かったのではないかと感じている。前期計画の反省を後期につなげて数値を精査しているところである。令和5年度から後期計画は始まっているが、法律の改正などで後れを取っている計画がある場合には目標値を見直すなど、現実的な数値へと目標設定の見直しも検討する必要があると感じている。

**【寺田委員】**

コロナの問題は八雲町に限ったことではない。達成できなかった項目についても引き続き取り組む必要がある。これらは職員の皆さんの力の見せ所だと思うので期待している。

**【近藤委員】**

スポーツ振興の推進について、ハード面は様々な改修工事が進んでいる中、ソフト面が気になる。例えばスポーツ少年団がなくなっていくことに対しての町の施策・支援など、町としてどのように対策を取っていくのか。人口減も続いている中で何よりも指導者が少ないと感じている。八雲町はオリンピック選手も輩出されているので、スポーツ課のような形で子供たちにスポーツの素晴らしさやふるさとを背負って頑張るなどの姿勢を普及させる施策も必要である

と思うが如何か。

**【土井教育長】**

スポーツ振興は町の活気にもつながる重要な施策だと考えている。文科省でも進めている地域への部活動の移行だが、令和5～7年度が推進期間ということで部活動を中心として体制づくりが必要だと考えられる。八雲町には素晴らしい選手や指導者がおりボランティアで指導していただいている方もいるが、今後の部活動の移行に伴い責任を負う指導を行えるのかの境目が非常に難しい状況である。来年度から地域部活動の移行を軸に考えていく必要があり、例えば中学校で合同部活動をどう考えていくのか。バスの送迎を数千万かけてでも行うのか、他の地域から指導者を呼んで行うのか様々な手法を検討しながら地域部活動を中心として町におけるスポーツの振興を検討していきたいと考えている。

**【佐藤委員】**

吹奏楽で大変すばらしい指導者が八雲中学校にいたと伺っていた。最近の中学校・高校・民間団体の合同演奏などの取り組みについて、八雲町の現状をどう考えているか教えていただきたい。

**【土井教育長】**

部活動の実績はどうしても熱心な指導者が中学校の中にいるかも左右されがちであると感じている。先ほどスポーツ分野の部活動についてばかり話してしまったが、文化部活動についてもどういったものを残していくのか児童・生徒の意向も聞きながら議論し整理していきたい。

**【小笠原委員】**

前期計画、後期計画の目標数値についてですが、先ほどの話では毎年変化する可能性があるということだったが、本来は5年に1回の数値のため変えるべきでないという認識でいたと思う。見直すにあたりこれは毎年数値として変更できるという認識でいいのか。確かにコロナがなかったら達成できたという項目もあったことと思う。今後、法改正や畜産では乳牛の淘汰や穀物飼料の高騰が続くことが予想される。そのような状況を鑑みて、目標数値を変えられるのであれば変えなくては意味がなくなってしまう。今一度、目標設定の数値をどのように考えているのかお聞きしたい。

**【右門係長】**

本来、計画期間中は目標値を変えないことが適切であったと考えられる。ただし、この考えはコロナなど達成率に著しく影響を与えるものを想定していないためである。前期計画の実績を考慮すると計画時より状況が変化し変更が必要な項目については、その変更理由を明確にした上で総合開発委員会に報告し柔軟に目標値を見直す必要があると改めて感じている。

**【川口課長】**

現在は後期計画の策定を行い基本目標値について各担当課で見直しを終えている状況である。今後の目標値の設定については、法の改正などから明らかに変更が必要と考えられる指標に関しては、当会議にて報告させていただきご意見を頂戴したい。

**【小笠原委員】**

絵に描いた餅にならないようにスピード感をもって対応をお願いします。

## (2) 第2期総合戦略 進捗状況報告（令和4年度末）について

事務局より説明

### 【寺田委員】

地域おこし協力隊について、令和3年度、令和4年度の人数が増えた理由と、協力隊の人々の定着率について教えていただきたい。また、ふるさと応援寄附金について、令和4年度に大幅に下落した理由についても教えていただきたい。

### 【川口課長】

地域おこし協力隊についてですが、当該制度は移住・定住に繋がる制度となっており、人数が増えた大きな要因は大関牧場の運営が開始され牧場研修員が増えた結果である。定着率は全国平均を超えており、八雲町は約7割である。任期後または任期途中でも八雲町に就職が決まり定着している。

ふるさと応援寄附金については、八雲町のふるさと納税は海産物の人気が高くこれまで多くの寄附をいただいている状況であったが、令和4年度についてはロシア情勢等の影響で海産物の原価が高騰し、その影響で寄附額を上げる必要が生じたため、結果として寄附件数が減ってしまった。

### 【寺田委員】

ふるさと納税は貴重な財源だと思うので、原因について十分に考えていく必要がある。また、中国の日本産海産物輸入禁止によるホタテへの影響についても注視していく必要がある。若い人に町に住んでもらうため、子育てを支援することや妊娠出産を支援することはよいと思う。一方、お金だけで人は動かない。なぜこの町に住みたいのか、町の魅力などについて若い人たちの意見を聞き、それらを満足させることを考えるのがとても大切。このことと、補助金などの支援の2つの車輪で動いていかなければならない。

### 【成田副町長】

子育ての関係についてですが、八雲町は他町の子育て支援と比べて助成は充実しているものと考えている。

現在、若い人達の出会いの場がないと言われており、札幌市では出会いの場を提供する取り組みを行う予定となっている。八雲町としても登録制などの手法により施策を進めていきたい。一対一で会いたい方もいると思うので、その方にあった出会いなどを提供できるよう進めていきたい。また、八雲町だけでなく近隣も同様の状況のため、タイアップしながら対応するよう町長より指示を受けている。

移住の関係については、U・Iターン事業など新たな施策はお金で誘導しているように見えてしまうが、それはそれで一つの考えとして、若い人が八雲町に何を求めているのか受け止めていきたい。また、町としては働く場所をつくる確保するなど、若い人が八雲町に来て生活できる環境を作っていくことが大事だと考えている。

### 【小笠原委員】

奨学金返還支援は学生にとって非常に魅力的だが、実際のところ当該制度を学生は知らない状況である。そのため、知ってもらうということを取り組むことが重要である。学術連携を行

っている大学等に積極的に事業説明を行うなど率先して知らせることが必要であり、大学等と連携して事業を推進するなど幅広く周知できるようご検討いただきたい。

### (3) 新町建設計画の改正について

事務局より説明（概要：政策推進課、財政計画：財務課、新庁舎計画：総務課）

#### 【佐藤委員】

新庁舎の基本設計に関してですが、日本を代表する設計士の方が関わっているということでデザインは斬新であり、見方は色々あると思うが私は素晴らしいデザインと感じている。今回の設計にあたる費用はどの程度か。また、今回の設計の配置計画について徳川公園の将来整備構想とあるが、具体的にどのような構想となっているのか補足いただきたい。

また、八雲町には噴火湾パノラマパークからの眺め、育成牧場からの内浦湾の一望など素晴らしい風景があり、梅村庭園についても大変素晴らしく、郷土資料館との関係性も有していると思う。今度、郷土資料館が離れることを危惧しているがどのように考えているのかお伺いしたい。

#### 【吉田主幹】

デザインに係る設計料ということで、基本設計が4,730万円であり事業者が二本柳慶一・隈研吾設計共同企業体となります。実施設計も同じ事業者となり1億3,420万円で契約を締結しています。

#### 【竹内課長】

徳川公園の将来整備構想についてですが、図面では可能性として掲載していますが確実に決定ではなく、今後の利用の仕方を含めどのように整備するか検討していく必要がある。

梅村庭園と郷土資料館の繋がりについては、仮に新たな敷地の中に郷土資料館ができた場合は梅村庭園までのルート設定や魅せ方など町としても検討する必要があると考えている。

#### 【小笠原委員】

新庁舎の外観と中身についてモデルか類似するような庁舎や施設で見られるものはあるか。

#### 【竹内課長】

役場庁舎に関して隈研吾さんのデザインはないと思う。他の公共施設はあるかもしれないが、道内にはないと思う。

#### 【近藤委員】

大変立派な建物であり、有名な設計士の方が関わっており商工会長として非常に期待している。ただ、一般町民としては、果たしてこれが必要かという話が様々な会議で上がっている。

また、町立病院を建てた際には、当初、空調設備がなく追加工事した経緯があったが、空調設備はどのようになっているのか。

将来的に道の駅を建設したいということだが、近年の道の駅の成功例は七飯町の「なないろ・ななえ」であるが、一方、他の町では苦勞している話を伺っている。そのような中、町民の方から伺う意見としては新庁舎に道の駅を併設して誰が来るのかという点である。八雲町の観光拠点としては約70万人がパノラマパークに来ている中、新庁舎に併設して観光拠点を分散させるのがいいのか、それともパノラマパークの周辺に建設して集中させるべきか判断が分

かれるところである。統計によると人口が30年後には5,000人を切るということになると推計されている。その状況下で建物の償還は続いていく。建築費約47億円、解体費用も含めると約66億円になると聞いているが、今の情勢ではこの価格では取まらないと思う。価格が約1.5倍など高騰することも予想されるが、人口が減少する中で償還し続けることを町としてどう考えていくのか。

#### 【成田副町長】

人口減少することは役場として承知しており、職員についても人口に合わせて減らしていくのが当然である。

図面上の建物は大きく見えるが職員が入るところは最小限のスペースで将来人口を見込んだ形での建て方を検討している。

立派な建物であり本当に必要なのか議論があるかと思います。色々な意見がある中ではありますが、実施設計を行っておりますので、そのような意見も踏まえて進めていきたい。

また、総事業費の66億円については町が負担する金額は23億円となっており、残りは財源が決まっている。将来的な財源や町民負担を考えても十分に耐えうるものだと思っている。また、配置計画に記載の道の駅や徳川公園については構想にも入っていない段階のため様々な意見を聞きながら進めていきたい。

#### 【近藤委員】

町民負担が23億で基本設計と実施設計はすでに進んでいる状況ではあるが、違約金を支払ってでも変更した方が良い場合がある。

町民の要望が何なのか、また職員も後から批判されるよりは、コンパクトで冷房の効いたところで効率的に仕事する方が良いと思う。町の発展の起爆剤になるということを考えると果たしてこれでいいのかという声を無視はできないのではというところである。議会含めて十分に話し合っていたきたい。

#### 【吉田主幹】

エネルギー効率の関係を考慮してすべてエアコンで調整している。太陽光発電200kwhを入れる予定であり、合わせて蓄電池の設置を予定している。災害時については避難者受入エリアを中心に太陽光発電を使用していく。防災対策というところについては、非常用発電機をもって72時間運営できる仕組みを整えていくこととしている。

#### 【寺田委員】

基本コンセプトの1番が防災となっており、とても大切なことである。1階の第一集会室が災害時の受け入れエリアとなっているが、50坪しかないため、防災を考えると不十分である。家が倒壊した町民が避難したくてもこれではスペースが足りないのではないかと。例えば、吹き抜けの部分各階のフロアにして広いスペースを確保し、受け入れ可能人数を増やした方が良くはないか。大きな屋根については東側に張り出すことになっている。大屋根下のスペースは主に夏場での使用が想定されるが、当地では夏には雨を伴った東風が吹くことが多い。想定されていることだとは思いますが、そのようなことを踏まえ、大屋根に意味があるのかを知りたい。

**【吉田主幹】**

避難の考え方は、一・二階について避難の受入場として考えている。役場庁舎の中の避難所は一時的な避難で想定しており、おおよそ3日間を目処に仮設住宅棟に移行する考えである。また、旧養護学校についても一時避難場所として検討している。当初、三階も受入エリアと考えていたが、避難場所を増やすことにより使用電力が増え、今回の太陽光パネルで賄える電力では不足することから一・二階とした経緯である。

屋根の活用については、天気が悪いときの使用はないと想定しているが、設計上は雨が当たらないところとなっている。避難した際の炊き出しの場など、運用方法についてどのように活用できるのか検討していきたい。

**【寺田委員】**

この屋根に意義があるかということである。恰好は良いかもしれないが、屋根は屋根の機能を果たさなければ意味がないので、設計者に確認したほうがよい。

**【大野会長】**

新庁舎については様々な意見があると思いますが、設計ができた段階で庁舎内で十分にご検討いただくようお願いいたします。

**【西田委員】**

新庁舎建設後、既存の役場庁舎はどうするのか見通しを聞きたい。

**【吉田主幹】**

現在の庁舎の東側は昭和36年に建設されてから耐震化がされていないので、現在震度6以上の地震で倒壊の恐れがあることから解体を予定している。西側は築30年程度であり、学校から近いため学童などの子供の放課後集まれる施設で活用を想定しているが、詳細はこれから検討したい。

**6 その他**

**7 閉会**



## 令和5年度第1回八雲町総合開発委員会出席者名簿

No.	区分	氏名	所属	備考
1	委員	大野 尚司	八雲町町内会等連絡協議会	
2	委員	井口 啓吉	熊石町内会等連絡協議会	
3	委員	近藤 安幸	八雲商工会	
4	委員	久保 扶佐子	八雲町漁業協同組合女性部	
5	委員	鎌田 和弘	落部漁業協同組合	
6	委員	能代 常男	八雲町社会福祉協議会	
7	委員	浅沼 真	連合北海道八雲地区連合会	
8	委員	西田 浩人	八雲町校長会	
9	委員	古澤 新一	八雲町スポーツ協会	
10	委員	杉浦 則昭	北海道労働金庫八雲支店	
11	委員	小笠原 英毅	北里大学獣医学部	
12	委員	青沼 千鶴	司法書士・行政書士やまびこ事務所	
13	委員	長谷部 修	一般公募	
14	委員	寺田 裕	一般公募	
15	委員	佐藤 馨	一般公募	
16	町	成田 耕治	副町長	
17	町	土井 寿彦	教育長	
18	町	竹内 友身	総務課長	
19	町	吉田 正樹	総務課主幹	
20	町	南川 達哉	財務課長補佐	
21	町	野口 義人	地域振興課長	
22	町	長谷川 信義	八雲総合病院庶務課長	
23	町	川口 拓也	政策推進課長	
24	町	右門 真治	政策推進課政策企画係長	
25	町	長谷川 佳洋	政策推進課企画係主査	